

進化計算シンポジウム 2015 プログラム

12月19日 (土)

13:00-13:05 開会式 大林 茂 (進化計算学会 第4代会長 東北大学)

13:10-14:50 ポスターセッション1 ショートプレゼンテーション (フラッシュトーク 2分/件)

司会 田中美里 (同志社大学)

| No | 論文題目 | 著者 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| P1-01 | MOEA/Dにおける重みベクトルの分布が解の分布に与える影響 | 土井健 (大阪府立大学)、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学大学院) |
| P1-02 | チェビシェフ関数を用いたMOEA/Dにおける実装方法の違いによる探索性能への影響 | 船越貴寛 (大阪府立大学)、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学大学院) |
| P1-03 | 進化的多目的最適化アルゴリズム評価のためのメタ最適化を用いた問題生成 | 谷垣勇輝、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学) |
| P1-04 | 多目的ファジィ遺伝的機械学習におけるアルゴリズムの違いによる探索性能への影響 | 武村周治 (大阪府立大学)、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学大学院) |
| P1-05 | パレートフロントの形状を指定した多目的最適化テスト問題 | 増田広行、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学) |
| P1-06 | 繰り返して囚人のジレンマゲームにおける7bit戦略の不思議な挙動に関する追加調査 | 須藤亮彦、後藤和志、能島裕介、石淵久生 (大阪府立大学) |
| P1-07 | タグクラウドを利用する人間ベース進化アルゴリズムの世代ギャップモデル | 東屋齊伴 (九州工業大学大学院)、大西圭 (九州工業大学) |
| P1-08 | 非同期進化的アルゴリズムにおける解と評価時間の関係性による影響の分析 | 原田智広 (立命館大学) |
| P1-09 | 劣個体分布を用いた問題構造の解析 | 長谷川拓、森直樹、松本啓之亮 (大阪府立大学) |
| P1-10 | 遺伝的プログラミングを用いたニューロ進化に関する研究 | 海内映吾、伊庭斉志 (東京大学) |
| P1-11 | 単純な問題一解が位相的単体をなす多目的連続最適化の問題クラスについて一 | 濱田直希 (富士通研究所) |
| P1-12 | 多人数対話型遺伝的アルゴリズムを用いたメガネ3Dモデリングシステム | 瀬山貴仁 (北海道大学情報科学研究科)、棟朝雅晴 (北海道大学情報基盤センター) |
| P1-13 | 看護師勤務表作成問題におけるタブーリストを活用した局所探索手法の提案 | 稲船淳也 (室蘭工業大学情報電子工学系学科)、渡邊真也 (室蘭工業大学大学院しくみ情報系領域) |
| P1-14 | オンデマンド非劣解分析支援システムの提案 ~次期科学観測用ロケット設計問題を通して~ | 渡邊真也 (室蘭工業大学)、千葉一永 (電気通信大学)、中野翔 (室蘭工業大学) |
| P1-15 | 超大規模 Multi-Depot Vehicle Routing Problems に対する分割統治法の概念を利用した新たな探索フレームワークの提案 | 伊藤臣志 (室蘭工業大学大学院情報電子工学系専攻)、渡邊真也 (室蘭工業大学大学院しくみ情報系領域)、榊原一紀 (富山県立大学工学部情報システム工学科) |

14:50-15:00 休憩

15:00-16:40 ポスターセッション2 ショートプレゼンテーション (フラッシュトーク 2分/件)

司会 渡邊真也 (室蘭工業大学)

| No | 論文題目 | 著者 |
|-------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| P2-01 | 消失イデアル遺伝的プログラミング | 計良有志、伊庭斉志 (東京大学) |
| P2-02 | 遺伝的プログラミングを用いた動的環境の追跡 | 服部啓之、伊庭斉志 (東京大学大学院) |
| P2-03 | カオス振動遺伝子回路の設計 | 鈴木一弘、伊庭斉志 (東京大学工学部電子情報工学科) |
| P2-04 | 機械学習による人工オペロン構築の最適化 | 韓昌熙 (東京大学)、柘植謙爾 (慶應義塾大学)、伊庭斉志 (東京大学) |
| P2-05 | 個体間の差分情報と母集団の分割に基づく粒子群最適化法 | 末安慶大、久保田良輔 (宇部工業高等専門学校) |
| P2-06 | 探索点の順位相関を利用した関数景観推定 | 串田淳一、原草、高濱徹行 (広島市立大学情報科学研究科) |
| P2-07 | PSOを用いた静的な最大電力点追従 | 明野龍介、田中嶋孝祐、斎藤利通 (法政大学) |
| P2-08 | 複数解問題における分裂人工蜂探索法の性能向上 | 坂本秀人、斎藤利通 (法政大学) |
| P2-09 | 参照方向が切替るPSOと動的な日射量変化での最大電力点探索への応用 | 田中嶋孝祐、斎藤利通 (法政大学) |
| P2-10 | 更新幅を用いた局所重み付けによる評価値の不平等性軽減についての検討 | 岸上利裕、吉川大弘 (名古屋大学) |
| P2-11 | CMA-ESにおける確率モデルと学習率に見られる傾向の解析 | 宮澤秀和、秋本洋平 (信州大学) |
| P2-12 | インスタンスベース政策最適化のためのCMA-ES-IBP-CMAの提案 | 藤吉夏生、秋本洋平 (信州大学) |
| P2-13 | 需要水量変化に対応する配水ネットワーク多目的最適化 | 大野泰嗣、アギレ エルナン、田中清 (信州大学) |
| P2-14 | 生き残り続けた解が探索方向を考慮した $A \in S \in H$ に与える影響 | 矢澤佑記、アギレ エルナン (信州大学工学部)、大山聖 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所)、田中清 (信州大学工学部) |
| P2-15 | Many-Objective Optimization with Very Restricted Evaluation Budgets | Martin Schlueter, Takeshi Watanabe, Akira Oyama (ISAS/JAXA) |
| P2-16 | 多目的最適化におけるChebyshev Achievement Functionに基づく解の優劣評価の効果 | 内野良寛、立川智章、藤井孝蔵 (東京理科大学) |

16:40-16:50 休憩

16:50-17:50 特別講演

司会 大山聖 (宇宙航空研究開発機構)

あと10年で超知能が作れる?・・・あなたならできる!!

Can we build a superintelligence within 10 years? Yes, you can!

松田卓也 (神戸大学名誉教授, NPO 法人あいんしゅたいん 副理事長)

18:00-19:00 休憩

12月20日 (日)

9:00-10:40 ポスターセッション3 ショートプレゼンテーション (フラッシュトーク 2分/件)

司会 秋本洋平 (信州大学)

| No | 論文題目 | 著者 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P3-01 | 補助重みベクトル群による多数目的最適化の促進に関する一検討 | 中川智、宮川みなみ、高玉圭樹、佐藤寛之 (電気通信大学) |
| P3-02 | MOEA/Dにおける解の連鎖更新法に関する一検討 | 佐藤 寛之 (電気通信大学) |
| P3-03 | 多次元ノイズを含む多目的最適化におけるスカラー化関数に基づくロバスト解探索 | 橋本知尚、宮川みなみ、高玉圭樹、佐藤寛之 (電気通信大学) |
| P3-04 | 多峰性関数における、局所探索に基づく Cuckoo Search Algorithm | 梅内祐太、上野史 (電気通信大学)、中田雅也 (電気通信大学、日本学術振興会特別研究員 PD)、佐藤寛之、高玉圭樹 (電気通信大学) |
| P3-05 | 制約付き多目的最適化のための指向性交配における解の選出領域の適応制御に関する一検討 | 宮川みなみ、高玉圭樹、佐藤寛之 (電気通信大学) |
| P3-06 | 報酬分散の取束に依らない分散に基づく学習分類子システム | 辰巳嵩豊、小峯嵩裕、中田雅也 (電気通信大学)、Tim Kovacs (University of Bristol)、佐藤寛之、高玉圭樹 (電気通信大学) |
| P3-07 | 冬季のスマートホームシステムにおける mCHP と EV の最適制御に関する研究 | 嘉藤太河、下山幸治 (東北大学流体科学研究所)、江原由希子、山田想、國領喬 (本田技術研究所) |
| P3-08 | Firefly Algorithm の解析および改良に関する基礎検討 | 大隅竜太、田村健一、安田恵一郎 (首都大学東京大学院) |
| P3-09 | 参照点を用いた進化的多目的最適化における処理の高速化 | 岸本直樹、中野秀洋、宮内新 (東京都市大学) |
| P3-10 | Evaluation of Evolutionary Computation Acceleration by Using Estimated Convergence Points | Yan Pei (the University of Aizu), Jun Yu (Kyushu University), Hideyuki Takagi (Kyushu University) |
| P3-11 | カオス力学系に基づく多点探索型最適化手法の動的最適化性能 | 山仲芳和、坪根正 (長岡技術科学大学) |
| P3-12 | 進化計算手法を活用した脳神経繊維追跡手法の提案 | 石田和、日和悟、廣安知之 (同志社大学) |
| P3-13 | Geographic Knapsack Problem における遺伝的アルゴリズムの探索速度の検討 | 原田圭、田中美里、日和悟 (同志社大学)、Heiner Zille, Sanaz Mostaghim (University of Magdeburg)、廣安知之 (同志社大学) |
| P3-14 | GP を用いた活字風手書き文字の生成 | 大坂智葉、粟津妙華、石川由羽、高田雅美、城和貴 (奈良女子大学) |
| P3-15 | 機能分担に基づく進化的多目的最適化手法の基礎検討 | 森田聖惇、田村健一、安田恵一郎 (首都大学東京大学院) |

10:40-10:50 休憩

10:50-12:30 パネルディスカッション

司会 TBD

Evolutionary Computation Vision 2025

パネラー：石瀨久生 (大阪府立大学)、白川真一 (筑波大学)、大林茂 (東北大学)、廣安和之 (同志社大学)

12:30-13:40 昼食

13:40-14:25 総会

14:25-15:00 表彰、閉会式、写真撮影